



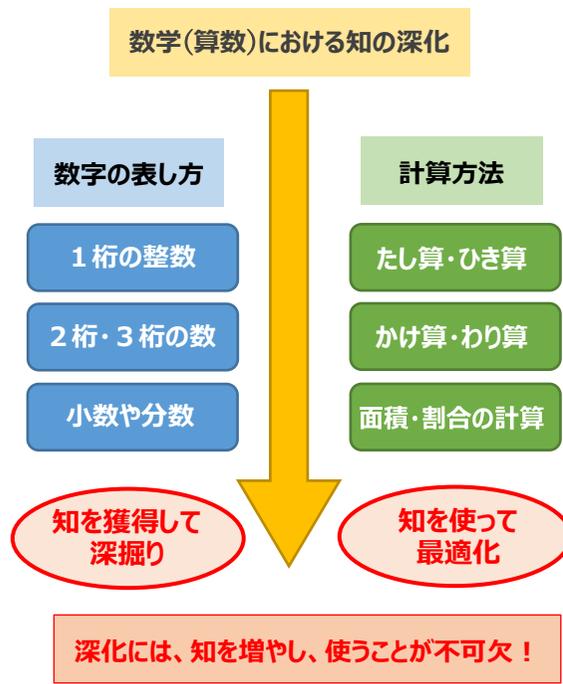
1学期が終わりますが、この4ヶ月間で自分にどんな変化が起きましたか? 「成長した」、「できることが増えた」、「工夫したら上手くいった」などの前向きな変化があれば、「どう頑張ってもできない」、「うまくいかず悩んでいる」、「どうしていいかわからない」などの、生きる上での壁となる変化もあったかもしれません。目の前の壁を、どうすれば打ち破れるのか、そもそも打ち破らなければならないのか(別の方法で対処できないか)、しっかりと考えたり、周りに相談したりしながら、考えを巡らせる時間を夏休みに十分にとってください!

今月と来月の2か月にわたって、「知の深化と探索」というテーマで、皆さんの学習をとらえ直していきます。知の深化とは、一定分野の知を継続的に深掘り(ふかぼり)、最適化していく考えです。「深掘り」とは、新たな知識をどんどん増やして、1つの分野に詳しくなり、理解を突き詰めていくことです。突き詰めていく中で、知識やアイデアがつながり、自分の思考が整理され、新たな考えと結びついていくことが「最適化」です。

例えば、数学(小学校までは算数)でいうと、数字を覚えることから始まり、はじめは1・2・3という1桁の整数、それから2桁、3桁と数字が大きくなり、小数や分数へと数字の表し方が拡張されていきます。計算は、たし算から始まり、ひき算・かけ算・わり算ができるようになっていきます。数字の表し方や計算方法などの「知識や技能」を増やしていくことで、数学(算数)に詳しくなっていきます。

次に、その「知識や技能」を使うことで、新しいアイデアや考えを獲得していく段階になります。2+2+2+2+2+2+2+2=16 ですが、かけ算を使って、2×8=16とした方が時間と手間が少なく済みます。かけ算ができると面積を求められますし、わり算ができると割合を求められます。知識を増やしていく中で考え方が最適化され、高度な考えに適した方法で解決し、理解できるようになるのです。

このように物事を深く究めていくには、深めるための知識の獲得が不可欠です。わからない、できないの原因は知識不足なのかもしれません。新たな知を獲得して、知の深化を進めていきましょう!



2学期の主な学校行事 (現在の予定ですので、変更されることもあります)

- 9月1日(水): 始業式、大掃除、服装指導、校内検定まとめテスト
- 10月6日(水): 体育大会
- 10月19日(火)~21日(木): 中間考査
- 11月9日(火): 球磨工フェスタ
- 11月25日(木)~30日(火): 期末考査
- 12月16日(木): 校内長距離走大会
- 12月24日(金): 終業式

究める

建築科 中島 桃子

建築の分野に興味を持ちはじめたのは、物心がついたときからだだと思います。自宅が設計事務所を開設していたので、建築に対するイメージは、『住宅や公共施設などの設計』というものでした。図面を引く姿を見ることが多く、実際に建築現場を訪れる機会があり、木造建築物の躯体の姿やかおりがとても衝撃的で、木材について興味を持ち始めました。

木材は、私たちの暮らしの様々な場面で使用されていますよね。住宅や家具、日用品や玩具など、数え上げれば切りがありません。そんな木材ですが、地球上で最初に姿を現した樹木はイチョウ、マツ、スギなどの針葉樹といわれるもので、約3億年前といわれています。ケヤキ、サクラ、クスなどの広葉樹が生まれたのは、それから1億5,000~2億年ほど後と推測されています。見た目の違いは、針葉樹の葉がとがった針のような形をしているのに対し、広葉樹の葉は平たくて幅が広いものです。それぞれの特徴を活かし、日常に使用するものに生まれ変わっています。学校にも沢山の木が植えてありますので皆さんも是非気にかけてみてください。

趣味である楽器(ピッコロ)を購入した際にも、自分の知識を活用できたと感じました。木管楽器の材質は主に木材なので、温度・湿度などに敏感で冬場になると割れやすくなることはもちろん、安定した音色も作りにくくなります。彫刻にも使われていて、木とは思えないほどのツヤのある仕上がりが特徴であり、比重が大きいアフリカン・ブラックウッド(グナディア)製の種類を選びました。木材という分野に興味を持ち学習したことが、趣味にも役立つなど当時思ったことを覚えています。

皆さんが学習している専門分野に少しでも興味を持ち始めたのはいつ頃からでしょうか。興味をもったきっかけは人それぞれだと思います。はじめの頃はわからなかったことも、授業等を通して、多くの事を知ることが出来ます。興味がある分野をさらに深く学び究めることで、きっとあなたにしかできない事があるかもしれません。

社会人になると「1つのことでも究めたもの」があれば、仕事では有利になってくると言われています。例えば、資格取得が大事と言われる時代なので、これも「1つのことを究める」になります。球磨工業高校での在学期間、先生方や施設など活用し、様々なことにチャレンジをして、自分の知識や技術を向上できるように頑張りましょう。

歯を磨くように勉強しよう(やらなきゃ気持ち悪い!) 数学科 田端 正朋

高校の頃、苦手意識が強かったのは「数学」「物理」。得意科目は「日本史」(笑)。特に物理は酷く、定期考査は赤点スレスレ、模試は20点台。さすがに高2の冬休み時点でこの状況はマズイと思い、なぜ解けないかを自己分析した。

① 公式と例題の丸暗記だった為、条件に応じて式を立てる事ができなかった。

物理は「F=ma」、物体の「動く方向」と「鉛直方向」「水平方向」にかかる力を意識して作図する。糸→張力・ばね→弾性力・あらい面→垂直抗力と摩擦力・液体→圧力と浮力のように自然と図から視覚的に分かってくる。数学も「なぜここでこの公式?」と1問にじっくり時間をかけて良い。そして解答を熟読し、解答の方向性と自分の思考のズレを見つけ修正していこう。疑問点は級友や先生に質問! また、雑記帳に何回も繰り返し解こう。毎日取り組む事と、最後まで諦めず考え抜く事が大切。自分は高3の夏休み位に突然覚醒するように分かってきた(半年位かかって当然!)。勉強に楽な方法や必勝法はない。試行錯誤が伸びる秘訣! やればやるだけ結果が出るのが勉強です。

いいか、勉強っていうのは飛行機と同じなんだ! 飛行機は飛び立つために滑走路を走らなきゃならないだろう。走って走って浮力がたまり、ふわっと浮き上がると、あっという間に上昇していく。お前もいつかその力が溜まり、必ず上昇する時がくる! 勝負はここからだ! TBSドラマ:「ドラゴン桜」より

② 自分のやり方を過信し、自分の「弱さ」に向き合わなかった  
→結果が悪ければ自分以外に原因を求め、結果として自分の弱点や実行力のなさから目を背けてしまう。ミスを防げないのは「自分は大丈夫」という傲慢さの表れ。先生方は君達を客観的に良く見ている。「こうするといいよ」というアドバイスに素直に乗っかれる方が成長のスピードが断然速い!

なぜ社会はこうなってるのか? 本質を見抜き、自分なりの答えを出す力を身につけろ! そのためには勉強するしかないんだ。勉強するのはな、この国で許された唯一の平等なんだ! 搾取されるだけの人間になりたくなければ、不満ばかり言う人生を送りたくなければ、お前ら勉強しろ!

TBSドラマ:「ドラゴン桜」より